



2014.7.5

No. 246

MONTHLY

# れんごう



<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者 出村良平

T060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 はくろビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

## 憲法解釈変更による集団的自衛権行使容認の閣議決定を許さない緊急街頭行動を展開

安倍政権は、国民の半数以上が反対しているにもかかわらず、憲法解釈の変更による集団的自衛権行使容認の閣議決定を強行しようとしていることから、連合北海道は7月1日正午、閣議決定を許さない緊急街頭行動を行った。

主催者挨拶にたった連合北海道工藤和男会長は「憲法解釈による集団的自衛権の行使容認を、与党のみで協議を進め、閣議決定をしようとしている。戦後日本が大切に積み上げてきた平和主義、憲法9条の理念を一内閣が解釈変更で葬り去ってしまうことはあり得ない暴挙だ。自衛権行使の三つの要件の具体的ケースの場所と事態は曖昧、不明であり、自衛権行使の歯止めはなく、戦争をする国へと変貌していくことは明らかと言わざるをえない。武力行使によって死者を生む国にすべきではない」と安倍政権の横暴を厳しく批判した。

抗議の訴えとして、民主党北海道代表代行徳永エリ参議院議員がマイクを握り、「日本の最高権力者である安倍総理が国民、国際社会に向かって日本は戦争をする国になると宣言しようとしている。市民の皆さんにはこの現実をしっかりと受け止め、危機感をしっかりと持っていただきたい。日本と平和を守るためには、同じ思いの人たちが結集し、安倍政権を倒すしかない」と力強く訴えた。また、これまで共に反対の声を上げてきた、札幌弁護士会憲法委員会事務局長の佐藤博文弁護士は「立憲主義の二つの柱である個人の尊厳と法の支配が、この

集団的自衛権行使容認の解釈変更によって破壊されてしまう。弁護士会は立憲主義を否定し、憲法9条の意義を根底から覆してしまう今回の政府の閣議決定に断固として反対する」と固く決意を表明した。

緊急街頭行動に参加した組合員は、道行く市民に、集団的自衛権行使容認の問題点が書かれたチラシを配布し、理解を求めた。

連合北海道は、安倍政権の暴走を許さず、閣議決定に断固反対し、今後も平和を願う多くの市民と連帯して憲法の基本的人権の尊重、国民主権、平和主義の三原則の貫徹を期し、平和な社会の実現に向けて組織の総力をあげて運動を進めることとする。

〈この記事のアドレス〉<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=866>





## 憲法解釈変更による集団的自衛権行使容認の閣議決定に対する談話

事務局長 出村 良平

安倍内閣は本日、国民の半数以上が反対し、道内においても40以上もの市町村議会が反対を決議しているにもかかわらず、戦後守り続けてきた専守防衛という安全保障に関わる基本方針を一片の内閣で覆し、憲法解釈の変更による集団的自衛権行使を容認する閣議決定を強行した。こうした国民無視、国会軽視の独裁的政治手法に満身の怒りをこめて強く抗議する。

集団的自衛権の行使は憲法上許されないとしてきた歴代政権の見解を時の政権の一存で変更することは、国民主権をないがしろにし、権力の暴走を縛るとした立憲主義を否定する。また、最高法規である憲法の信頼性や権威をおとしめ、法治国家の存続さえも危ぶまれるものにするなど、断じて認めるわけにはいかない。

閣議では、武力行使の3要件として「日本と密接な関係にある他国に対する武力攻撃が発生し、国としての存亡や主権が根底から履がえさせる明白な危険性がある」として集団的自衛権に踏み込む一方で、「武力行使は限定的」とする、これまでの政府見解を一部適用し、国民を欺きながら「行使容認」に導いた。

また、首相の私的諮問機関である安保法制懇の報告により、集団的自衛権の行使容認に向けた政府

の基本的考え方を誘導し、閣議決定に至った。国会論議や国民合意を意図的に封じ、こうした世論を導くような政権運営は、手続き的に不適切で民主主義を崩壊させるものであり、決して許すわけにはいかない。

憲法解釈変更による集団的自衛権の行使容認の理由として、安全保障環境が根本的に変容し、一国のみで平和を守ることにはできないとして国の責務は平和と安全を維持し、国の存立と国民の生命を守ることを上げている。しかし、「行使容認」によって、平和国家として築いてきた世界からの信頼や地位が揺らぐとともに、海外の武力行使に道を開き、東アジアの緊張を一層高める危険性が生じるなど、むしろ国民の生命や財産が脅かされることを強く懸念する。

連合北海道は、安倍政権の暴走を許さず、憲法解釈変更による集団的自衛権行使容認の閣議決定に断固反対し、憲法に基づく平和的な外交力を高めることを求めるとともに、平和を願う多くの市民と連帯して憲法の基本的人権の尊重、国民主権、平和主義の三原則の貫徹を期し、平和な社会の実現に向けて組織の総力をあげて運動を進めることとする。

〈この記事のアドレス〉<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=871>

## 憲法解釈変更による「集団的自衛権行使容認」を許さない全道集会を開催

連合北海道は6月18日、札幌市大通西3丁目において、憲法解釈変更による集団的自衛権行使容認に反対する全道集会を、約1千名の参加のもと開催した。

主催者挨拶にたった連合北海道工藤和男会長は「集団的自衛権の行使は許されないと戦後の歴代内閣が確立し踏襲してきた国の最高規範である憲法の解釈を、時の内閣の一存で便宜的また意図的に解釈変更をする

行為、さらには国民の生命や国の形に関わる安全保障政策の転換を、国民に問うことも憲法改正の手続きを踏むことなく、与党協議と閣議決定で既成事実化する行為は、まさに民主国家としての基本原則でもある立憲主義、法治主義をないがしろにするものであり断じて許されるものではない」と厳しく批判した。引き続き連帯挨拶にたった札幌弁護士会憲法委員会事務局長佐藤博文





弁護士は「法律家の職務として、基本的人権の擁護と社会正義の実現のために、この集団的自衛権行使は断じて許されない。全力をあげて取り組み、一緒に闘い、阻止しよう」と呼びかけた。また、民主党北海道勝部賢志幹事長は「紛争している二国間の一方に加担すれば、当然日本も相手国から攻撃の対象になる。集団的自衛権の行使が容認されれば、日本の国は間違いなく戦争に巻き込まれ、積極的に戦争に参加する国になってしまう。絶対に許してはならない」と訴えた。

続いて、連合北海道出村良平事務局長より、これまでの連合北海道の取り組み経過として、閣議決定阻止のための各職場や地域での行動などが報告された。

集会決議採択がされたのち、工藤会長による行使容認を決して許さないとの決意を込めた団結ガンバローで集会を締めくくった。

終了後、参加者は市内をデモ行進し、安倍政権の暴走や、国民を無視する閣議決定を許さないなど、市民にアピールし理解を求めた。

連合北海道は、今後も世論形成を図り、憲法の平和主義、基本的人権の尊重、国民主権の三原則に基づき、平和な社会の実現に向け、憲法解釈変更による集団的自衛権行使容認に反対する運動を、組織の総力をあげ進めることとする。

〈この記事のアドレス〉<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/7p=804>

## 恒久平和を求め道内から16名が参加 「2014平和行動 in 沖縄」に北海道代表团派遣



戦没者の霊を慰める「慰霊の日」と定められた6月23日に合わせ2014平和行動 in 沖縄が行われた。連合北海道は21日から25日の5日間、戦争による惨禍が再び起こることのないよう、恒久平和を希求する行動及び学習を目的に16名の北海道代表团を派遣した。

22日、北海道独自行動として、学習会を開催した。第一学習会では、沖縄国際大学前泊博盛教授より「集団的自衛権と今後の沖縄」と題し講演を頂いた。その中で教授は「日本の行政権は米国によってひざまづかされているという実態が日米地位協定を見ているとたくさん出てくる。その流れの中に集団的自衛権もあって、アメリカが攻撃されているのに安保条約を結んでいる日本が守らないのはおかしい、暴漢が襲ってきたら自分を守るべき話に持っていかれてしまう。そこから議論が進められてしまうところが、この国の悲しい民主主義、民度の問題である。民度を上げ、主権者としての権利を行使しないと、とんでもないことになる」と提言した。また「集団的自衛権の行使の前に、論じるべきことは、日本の外交力の低下である。外交ですべきことを、軍事に頼ろうとしている。外交力を高めるには情報収集をし、自分で判断して動かなければならないのに、アメリカに言われたことをうのみにしている。この時期の集団的自衛権の論議は、外交力で劣勢にある日本が、武力行使に活路を見いだそうとしているかのようにも見える」と日本の外交

のあり方について批判した。

第二学習会として、遺骨収集ボランティア「ガンマフヤー」の代表である具志堅隆松さんより講演をいただいた。「ガンマフヤー」とは「ガン（沖縄の方言で洞窟やくぼみ）を掘る人」という意味で、沖縄戦で亡くなった方々の遺骨を、ガンの中や防空壕などで探し掘り出して、遺骨を家族に戻そうという活動家のことだ。具志堅さんは、毎年百体以上の遺骨が出てくる現状にあるにも関わらず、国が前向きでないことについて触れ「DNA鑑定をすれば返すことができるのに、名前のある遺骨が出てこない限りできないという、国の高いハードルがある。国民の側から国家の戦争責任を指摘して責任を果たさせるようにしなければならない」と国の姿勢について批判した。また、なかなか進まない収集作業の中で、緊急雇用創出事業として失業者やホームレスの方達をハローワークを通じて募集し収集作業を行うという、戦後処理と雇用対策を一体として進めた事例も紹介された。具志堅さんはその事業を始めるにあたり「60年以上前の助けてくれと声も出せない弱者に、現代の弱者が手をさしのべることによって双方が救われるのであれば、戦没者も許してくれるのではないか」と当時の思いを語った。

翌23日、連合本部主催の2014平和オキナワ集会へ参加した。主催者挨拶に立った連合本部神津里季生事務局長は、「基地問題は沖縄に限らず、基地をかかえる多くの



地域における共通の課題である。我が国の国防安全保障が基地をかかえる地域の負担によってなっていることを考えるとき、日本全体の問題であり、国家主権そのものの問題だ」とし「時には、なぜ労働組合が基地問題に取り組むかという声を聞くこともあるが、それは私たちが安心して暮らし、働き、労働運動に携わるには、平和であることが大前提だからである」と述べた。

平和メッセージとして、連合北海道を代表し安田宗一副会長が挨拶に立ち、北海道の問題として矢臼別における実弾移転訓練で演習地外に着弾した重大事故やF16戦闘機千歳基地訓練について触れ「これからも緑ゆたかな北の大地の破壊を許さず、長きにわたり犠牲にされてきた沖縄の基地問題を解決するため、連合北海道としても全国の仲間と連帯して世論を高めていく」とし、「この

平和行動を根室につなぎ、運動に全力を傾ける」ことを表明した。

最終日の24日は、フィールドワークとして南部戦跡を回り、ひめゆり平和祈念資料館や沖縄県平和祈念資料館では、体験者の残した言葉や壮絶な映像等を通して、反戦への気持ちを新たにした。また、全国の仲間が沖縄県庁前広場に結集、国際通りをデモ行進し道行く人々に訴えた。

参加者は今回の行動で得たものを、今後の産別・地域での運動に生かし、連合北海道としても、戦争がもたらした惨劇と実相を忘れることなく、更に「米軍基地の整理・縮小」「日米地位協定の抜本改定」を求め平和運動を推進していく。

〈この記事のアドレス〉<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=833>

## 連合十勝 第Ⅱ期ユニオンスクール 「第2回学習会」を開催

第Ⅱ期ユニオンスクール十勝の第2回学習会が6月25日、帯広地区労働者会館において開催した。第1回学習会は、4月24日に37名が参加しての開催。今回は参加者が15名と少数だったが、内容は充実、あっという間に終了時間となった。講師は毎度おなじみの連合北海道組織対策局の皆川次長。

今回のテーマは①「なんちゃって財務諸表の見方」でOK! ②グループワーク「NEW連合北海道ユニオンかるた、団交編!」 ③グループワーク「模擬団体交渉対策」の3件となり、「財務諸表の見方は会社の経営分析に必要。最低限、『単語』はしておくべき」との話があり、全員真剣に聞き入っていた。

そして、メインテーマとなった「ユニオンかるた」は、4班に分かれて実施。苦戦をしながらも3班は全問正解で終了。連合十勝会長と帯広の会長の2人の班は、なんと4問不正解、しかも極めて初歩的な問題での「ミス」。参加者には「不正解」があったこと「特定秘密?」にしていた。

時間の関係上「バツゲーム」は逃れたが、常に基本的

な労働法の学習が大切と再認識した。3つ目のテーマとなった「模擬団交対策」の学習は次回の「模擬団交」に向けた作戦会議ともなった。



第Ⅰ期での模擬団交の時は、妥結に至らず、組合側が追い込まれる状況が多かっただけに、今回の学習は力になった。

第3回学習会は、8月9日(土)13:00から予定しており、学習の成果を実践(模擬団交)で発揮できるよう今から準備を誓いあって終了した。

〈この記事のアドレス〉<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=838>



### 7月の主な動き

### イベントカレンダー

- 韓国労働組合総連盟との意見交換会  
10日(木)9:30/ガーデンパレス
- 地協・地区連合職員研修会  
10日(木)14:00/ガーデンパレス
- 原爆パネル展  
15日(火)10:00~17日(木)/かでの2・7
- 中央執行委員会  
17日(木)13:30/連合会館
- 第7回判例研究会  
17日(木)18:30/かでの2・7

- 政策委員会  
23日(水)15:00/ポールスター札幌
- 第10回執行委員会  
24日(木)10:00/連合北海道会議室
- 第9回地協事務局長会議  
24日(木)13:30/連合北海道会議室
- サハリン州労働組合連合との交流  
26日(土)~30日(水)
- 連合 北海道ブロック代表者会議  
29日(火)15:00/ポールスター札幌

## ゆに・ぽん



道内のアミューズメント、ホテルなどが特別価格で利用できます。夏休み版好評配布中!